

残暑

JJ1SXA/池

「愛日」、「畏日」という言葉を、産経新聞の記事で知った、「愛日」は「あいじつ」と読み「畏日」は「いじつ」と読む、季節にまつわる表現で、中国の史書「春秋左氏伝」の一節が由来だそう。

「冬日可愛、夏日可畏」(とうじつあいすべし、かじつおそるべし)とある、ここでの「日」は日差しのことだそう。

それにしても、異常な暑さにびびっている、40 度を超え、41 度超えを記録した(7 月 30 日・兵庫県丹波市 41・2 度、8 月 5 日・群馬県伊勢崎市 41・8 度)。

日本の夏を分ける三夏は、さわやかな初夏、梅雨の蒸し暑い仲夏、暑さの厳しい晩夏を指す、立秋を迎えると、それから先は「残暑」を使うことになる、立秋を迎えたが、まだまだ「残暑」では済まされない暑さが続きそう。

ちまたでは熱中症のニュースも多く、救急搬送も数多くあるようだ、サンデー毎日の身は、外出を控え、適度な水分・塩分の摂取と共に、適切なクーラー使用で、暑さを乗りきる所存だ。

高齢者が電気代が勿体なくてエアコンをつけないで熱中症になったなどというのは、一寸横に置いて、高齢の所為で暑さをあまり感じないで熱中症になるケースもあると聞く、歳はとりたくないが、これだけはどうにもならない、まだ暑さ寒さがわかるので、大丈夫かなと思うこの頃だ。

前記、立秋だが、これは二十四節気の一つだ、二十四節気は、1 年を春夏秋冬の 4 つの季節に分け、さらにそれぞれを 6 つに分けた、季節を表す言葉で、暦の上では、秋が始まる日とされている、ただ、近年は秋の兆しや気配は無く、厳しい暑さが続く。



本当の秋が待ち遠しいが、近年は、秋は良い季節というより自然災害の多い季節でもあるようだ、思い通りにはいかないのが世のならいか。

(2025 年 8 月記)